



# しんいち



2026年（令和8年）  
2月19日 3月号  
福山市立新市小学校

ホームページ <https://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-shinichi/>

## 新しい児童会へバトンを渡す ～児童会引継式～

1月29日（木）に児童会引継式が行われました。これは、児童会役員として取り組んできた6年生の役員から5年生の役員に引き継ぐ式です。式の中で、6年生の児童会役員一人ひとりから「人前に立って話すことが苦手だったけど、活動を通して自分に自信がつくようになった」「門の前に立って挨拶をすることで、それまで挨拶は関係ないと思っていたけど挨拶は人と人をつなぐ大切なものであると気付いた」など、がんばってきたことが語られました。全校の前で語る6年生の役員の姿は堂々としていて、「やってよかった」という実感がとてもよく伝わりました。新市小学校児童会のリーダーとして活躍してきた役員のみなさん、今までありがとうございました。新児童会役員の5年生のみなさん、6年生から引き継がれたものを大切にしてください。これからがんばっていきましょう。



## みんなで記録に挑戦 ～全校縄跳び大会～

1月から全校で縄跳びを通して体力作りに取り組んでいますが、2月13日（金）は、全校縄跳び大会でした。まず、初めに、短縄跳びの記録会からスタートしました。技は、前跳びと後ろ跳びの2種目です。どちらも2分間連続して跳び続けることに挑戦しました。こどもたちは、それまで体育や休憩時間等において練習を続けていたので、本番ではその成果を発揮しようと大はりきりでした。スタートのホイッスルが鳴ると、全員で一斉に跳び始めました。先生たちの声援を力に、音楽に合わせてリズムカルに跳びました。次は、クラス別長縄の記録会です。5分間で何回跳ぶことができるか挑戦しました。クラスで、1・2・・・と声を出し合いながら跳んでいきました。途中、引っかかっても互いに「がんばろう」「さあ次いくよ」など声を掛け合って跳び続けました。学年が上がるにつれ、長縄の八の字跳びが連続で跳ぶようになり、大会当日の最高は、6年1組の388回でした。みんなで、力を合わせ、引っかかっても励まし合うこどもたちの姿に思わず胸が熱くなりました。



## 「造形遊び」で思い思いに表現 ～1年生図画工作科～



1年生が図画工作の学習で「造形遊び」を行いました。「造形遊び」とは、こどもたちが、材料や自然のもの、場所に進んで働きかけ、思い思いに発想や構想を繰り返しながら学習することです。1年生は、畳1枚ほどもある大きな段ボールに、自然の中にあるものから葉を用いてぺたぺたしたり、ローラーを転がしたりして自由に色を着けていきました。実は、こどもたちが使った段ボールは、12月のPTA

資源回収の際、学校に届いていたもので、それを使わせていただきました。こどもたちは、普段学習で使う画用紙とは違う大きな段ボールなのでとても楽しみながら表現していました。でき上がった作品の周りには、新市の特産物であるデニムの布を貼り付け、まるで額縁のようにして仕上げました。完成した作品にネーミングをし、体育館に展示をしました。全員の作品が体育館に並ぶと、体育館が素敵な美術館に変身したようでした。



## その花イイじゃん ～4年生図画工作科～

2月12日(木)に4年生図画工作科の研究授業を教育委員会の指導主事や他校の先生方にもみていただきました。

こどもたちは、自分が想像した花の感じに合うように、泡に色をつけて表現したり、ストローで吹いて色を着けたり、また、歯ブラシを使って色を粉雪のように散らしたりとさまざまな技法を用いて自分だけの花を表現していきました。友だちの作品を見て「それいいねえ」「どうやってやったん？」等つぶやきながら夢中になって表現をしていました。

2026年度(令和8年度)、新市小学校で、第64回広島県造形教育研究大会を11月18日(水)に開催します。新市町の地域資源を図画工作科の題材に活用したり、総合的な学習の時間と関連付けたりすることを取り入れながら、児童が「楽しい」と夢中になって学習に取り組むことをめざしていきたいと考えています。



### しんいち学区ふれあい事業講演会 これってゲーム・ネット依存症?～私たちにできること～

日時 2月21日(土) 10:00～11:30

場所 新市交流館 2階ホール

講師 医療法人仁康会 小泉病院 院長 杉江拓也先生

メディアコントロールに向けた講演会です。皆様、是非ご参加ください。